

# 令和6年8月 地震・火山月報（防災編）

**表 令和6年8月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴**

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第63～71号	2日、5日、9日、12 日、16日、19日、23日、 26日、30日 16時00分	活発な噴火活動が継続。南岳山頂火口の爆発、噴火、噴煙、大きな噴石飛散、火映の状況。29日の爆発では噴煙が火口縁上4400mまで上がった。昭和火口では噴火及び火映は観測されていない。現地調査による火山ガス（二酸化硫黄）放出量は、1900、1500、1800、1500[t/日]（7月31日、8月14日、21日、27日）でやや多い。火山性地震、微動の発生状況。GNSS連続観測では、桜島島内の基線で1月頃から山体収縮とみられるわずかな縮みが認められる。姶良カルデラ（鹿児島湾奥部）を挟む基線では、長期にわたり地下深部の膨張を示す緩やかな伸びがみられる。姶良カルデラ地下深部にマグマが蓄積した状態で、火山ガス放出量も概ね多いことから、今後噴火活動が再び活発化すると考えられる。
			降灰予報（速報） 6日 00時50分 7日 14時55分 21日 15時11分	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
			降灰予報（詳細） 6日 01時02分 7日 15時03分 21日 15時25分	噴火発生から6時間先まで（1時間ごと）に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 火口周辺規制)	解説情報 第66～74号	2日、5日、9日、12 日、16日、19日、23日、 26日、30日 16時00分	火山性地震は古岳火口付近浅部では概ね多く、新岳付近では少ない状態。8日に新岳西側山麓付近のやや深いところで振幅の小さな火山性地震が2回発生。新岳火口で白色噴煙を観測。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は少ない状態。7月29～31日、8月21～23日の現地調査で、引き続き古岳火口付近及び新岳火口西側割れ目付近に地熱域を確認し、特段の変化は認められず。GNSS観測で、2023年11月頃にかけてみられた古岳付近の膨張を示す変動で膨張した状態が維持されている。火口付近浅部の地震活動はやや活発で、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量や古岳の地熱活動は2023年6月からの活動以前の状態より高まった状態で推移。新岳火口及び古岳火口の周辺において噴火が発生する可能性がある。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第62～70号	2日、5日、9日、12 日、16日、19日、23日、 26日、30日 16時00分	火山性地震は、4月中旬以降増加した状態。3月中旬からの山体西側の膨張を示す傾斜変動は、4月下旬から鈍化し5月以降は停滞。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は500[t/日]（21日）、2023年3月以前に比べて多い状態。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第32～35号	5日、12日、19日、26 日 16時00分	火山性地震は少ない状態。火山性微動はなし。GNSS連続観測では、島内的一部分の基線で2023年10月頃から縮みの変化がみられ、5月頃から停滞。同基線では2015年頃から長期的な縮みの傾向がみられる。噴煙、火映、地殻変動等の火山活動の状況。

## 令和6年8月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等			概要
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第38~41号	5日、12日、19日、26日 16時00分		噴火活動が継続。爆発、大きな噴石の飛散、噴煙、火映の状況。火山性地震、微動の発生状況。GNSSでは、島の西側深部におけるマグマの蓄積量の増加を示す変動は認められない。
		降灰予報(速報)	16日 25日 17時28分 04時53分		噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	16日 25日 17時37分 05時09分		噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
岩手山	噴火予報 (噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)	解説情報 第1号	5日 10時30分		山頂付近で4月頃から火山性地震の発生頻度がやや高い状態。黒倉山付近では5月頃から微小な火山性地震が増加。8月2日以降振幅の小さな火山性微動を5日までに3回観測。GNSS連続観測では、2024年初め頃から山体を挟む一部の基線でわずかな伸びの変化が認められている。今後の火山活動の推移に留意。
		解説情報(臨時) 第2~4号	21日 23日、30日 11時00分 16時00分		傾斜計やひずみ計、GNSS連続観測で、2月頃から山体膨張を示す地殻変動を観測、8月までの変動量は、1998年の活動初期と同規模。黒倉山付近では5月頃から微小な火山性地震が増加、7月下旬以降さらに増加し、その後増減を繰り返し継続。火山活動が高まっている可能性がある。22日の現地調査で、大地獄谷付近の噴気及び地熱域の状況に特段の変化はない。今後の火山活動の推移に注意。
霧島山	噴火予報 (噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)	解説情報 第1~3号	11日 20日 09時10分 16時10分 09時00分		8日17時頃から韓国岳付近の浅いところで地震が増加。11日02時32分頃の地震で、小林市で震度1を観測。19日20時頃から大浪池付近の浅いところで地震が増加。同日20時36分と21時06分の地震では霧島市内で震度1の揺れを観測。火山活動の変化は認められず、GNSS等の地殻変動観測には特段の変化はない。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 浅間山、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。